



Desert Wind

Vol. 41, April 2010

■■ 信仰の原点 ■■

私は長崎県の諫早市という山と川と畑と田んぼに囲まれた田舎で生まれ育ちました。小さい頃は、いつも野山が私の遊び場で、そんな田舎者の子供ですから、一人で町に行くと迷子になった苦い経験があります。小学校の一年生の頃です。その事をあとで母に言うと、母は、「今度から町で迷子になったら、駅前のバス停のところに高い塔を目指して歩けば最初の所に戻れるから」と教えてくれました。迷ったら、元のところに戻ればいい、原点に帰ればいいのです。

これは、信仰生活においても同様です。信仰生活は霊の戦いで、いつも同じ思いで信仰を持ち続けることは困難です。色々な問題が降りかかり、そのために私たちは動揺し、疲れ果て、信仰の力と喜びを失ってしまうことがあります。そんな時、新たな活路を見出すきっかけになるのは、やはり信仰の原点に立ち返ることです。原点に戻って、すべてを見直す。使徒パウロは、第一コリント 2:2 で、私たちの信仰は「イエス・キリスト」に対する信仰であり、そのキリストは、「十字架につけられたキリスト」であるということに福音の核心があるのだと言っています。

①十字架につけられたキリスト：ところで、パウロが「十字架につけられたキリスト」と言うとき、この「キリスト」という言葉は、決して誰かの名前ではありません。「キリスト」という言葉は、ギリシャ語で「油注がれた者」という意味で、神がその人を特別な努めに任じられたということの意味をしています。ですから、イエス様という方は、神が全人類を罪の刑罰である永遠の滅びから救い出すために、油注ぎをして遣わされた「救い主」であり、また死からよみがえって、すべてのものの頭となられた復活のキリストであるということです。

②キリストは私のために死なれた：では、なぜキリストが私のために死ななければならなかったのでしょうか。この問いに

対して聖書は明確に答えています。第一コリント 15:3 を見ると、「キリストは、聖書に書いてあるとおり、わたしたちの罪のために死んだ」とあります。キリストは「私の罪のために」「あなたの罪のために」死なれたのです。「私の罪」「あなたの罪」は、神の子キリストが死ななければ解決できない深刻な問題なのです。

罪の本質について、パウロは、霊的理解力の弱い私たちに、奴隷のたとえを用いて説明しています。人間は生まれながらの状態では「罪の奴隷」だとパウロは言いました。そして、罪という主人が、その主人に生涯仕えた奴隷である人間にもたらすものは死です。そして、この死は、この世での死だけではなく、死んだ後に永遠に地獄で生きるという永遠の滅びを意味します。キリストが死なれたのは、まさに私たちをこのような罪の支配力から解放するためだったのです。

③十字架のキリストこそ信仰の原点：第一コリント 2:1-2 を見ると、パウロは、この世的な知恵や、この世的な雄弁を語ることはせず、ただひたすらにイエス・キリストを、しかも十字架につけられたイエス・キリストだけを伝えようとして決心したと言っています。これにはパウロの苦い経験があったことが予想されます。というのは、使徒行伝の 17 章を見ると、パウロはギリシャの中心であるアテネで非常に雄弁な説教をし、大変苦い経験をして、そのあと、アテネを去ってコリントに行ったと記されているからです。

結局のところ、雄弁な話、面白い話、興味深い話をして多くの人を引き寄せても、そこに聖霊の働きがなければ、十字架と復活という福音のエッセンスに触れたときに、人々は去っていくのです。しかし、聖霊に働きがあれば、この十字架と復活の話を聞いて、一度に 3000 人の人がキリストを信じるのです。私たちは、どんな時にも、この信仰の原点を見失わず、主の道を歩む者でありたいと思います。

LJVCC 牧師：鶴田健次

DREAMS COME TRUE

- ✠ 教会堂の建設
- ✠ 敬老ホームの設立
- ✠ 幼稚園の設立

お祈りのリクエスト

- 日本の家族の救いのために
- 各スモールグループのオikos伝導のために
- 入門者クラスのために (田中兄、りえ姉、亜津子姉)
- 英語部の働きのために
- 小さな子供を持つお母さん方のクラスのため
- 堀田兄弟の神学校での学びのために
- 癒しの祈り：恵理奈ちゃん、植木ケン兄の糖尿病、神崎先生の目、倉田一徳さんの脳腫瘍、新井雅之兄の癌、夕紀子姉の緑内障、りえ姉、美津子姉、かよ姉、美枝子姉、Mary 姉、以津子姉、Kahoku さん、

Desert Wind では、ご意見・質問等何でも受け付けております。lvjccnews@hotmail.com 発行人：鶴田健次 編集人：松岡みどり



■ 神様が期待してくださっていること ■

■ バンクス 香織

ハレルヤ。主の御名を賛美いたします。まずは、神様がこの機会を与えてくださり、信仰生活を振り返る時を持たせてくださった事を感謝いたします。

ただただ神様の哀れみにより救われてから3年9ヶ月ほど経ちますが、先輩クリスチャンがおっしゃることを、私も少しずつ経験していることがあります。それは、神様へのご奉仕をしたり、み言葉によって人生の選択をしたり、神様が周りの方々をお用いになり神様の栄光が現れることを垣間見るなどです。これらは救われる前には思いもよらなかった事です。

こうして私が今書いているのも、神様が早織さんを用いられたことから始まります。というのは、早織さんの朝の祈りの中で、「私(香織)がしている奉仕を通して、神様に用いられている事を書いて欲しい」と言う思いが与えられたそうです。私の返事は「はい、そうですか。分かりました。」、とすぐにはいきませんが、み言葉によってそれをさせていただく決断に至ったのでした。それは、先日のパームサンデーでの礼拝メッセージを通して、『主がお入り用なのです』(マルコの福音書 11:3)、と私も名指して呼ばれた一人で、大切な働き人なんだ、ということに改めて教えていただいたからでした。

そこで本題ですが、今私に神様が期待してくださっている事は、ナースリールームの先生、日本語教室を媒体として救われていない方々が教会につながるよう整えていくこと、聖書に基づく子育て勉強会をリードしていきアウトリーチの働きをしていくこと、隣人にキリストを証していくこと、賢い妻になること、イエス様という監督のもと与えられた子を夫婦で指導していくことです。特に1、2、3番目の事柄に関して、最初はなぜ私ですか、と耳を疑いたくなったものでした。

1番目のナースリールームは洗礼を受けた直後から入りましたが、ベビークリスチャンの私が何を子供たちに教えていったらいいのかわからぬままのスタートだったからです。その中であっても、神様はいつも必要を与えてくださいました。それは、ナースリールームに集まる子供たちを、また助け人を、そして教材を与えてくださり、必要を満たしてくださいました。

2番目の日本語教室ですが、英語部につながる方を導くために、礼拝の毎日曜日に日本語教室を開く思いが与えられました。こちら今まで何の経験もない私が、どうやって日

本語を教えていったらいいのだろう、と鶴田先生を始め多くの方に相談していましたが、大ベテランの植松先生が与えられご旅行に行かれてラスベガスにいない時以外は毎日曜日に先生をしてくださっています。植松先生がご旅行でお留守の時、優子姉妹、あや姉妹そして私の3人でローテーションを組み、植松先生が教えられた所を復習するという形を取り、多くの助け人が与えられていることを本当に感謝しています。

また、3番目の聖書に基づく子育て勉強会についてですが、最初私はこのような勉強会に参加できるよう適切な働き人を与えてくださいと祈っていました。ですが、結局は以下のみ言葉が薄れる事のないように、神様は私を用いようとしていらっしゃるという思いが与えられました。

私がきょう、あなたに命じるこれらのことばを、あなたの心に刻みなさい。これをあなたの子どもたちによく教えこみなさい。あなたが家にすわっているときも、道を歩くときも、寝るときも、これを唱えなさい。これをしるしとしてあなたの手結びつけ、記章として顔の上に置きなさい。これをあなたの家の門柱と門に書きしるしなさい。(申命記 6:6-9)

自分の知識の中でこれらをしよと思うと到底私の手に負えません。ですが、全宇宙を作られた全能の神様が計画をしてくださり、私にそれらをしなさいとおっしゃるのなら、神様におゆだねして、『すべてのことをつぶやかず、うたがわずおこなう』のみです。そして、いつも祈りの勇士がこれらの奉仕を祈りによって支えてくださっていることも忘れられません。感謝です。

これらの神様へのご奉仕をする中で一番思う事は、それを通して主と福音を伝えていく機会が与えられ、紹介しやすい状況が生まれるという事です。最近のことですが、入門者クラスを取り始めた渡辺亜津子さんですが、ありがたい出会いの後『聖書に基づく子育て勉強会』のお知らせをしたら、亜津子さんの方から教会のことを聞いてくださって教会に来ることができました。また日本語教室に来てくださっているソミンさんは、ゴスペルクワイヤーに参加してみようかな、というポジティブな態度を見せてくださっています。

皆様一人一人への神様の期待、また私に対する期待はこれからも続くでしょう。神様がご計画してくださっていることがみ手の中で進み、いただいている賜物をこれからも神様のために使っていけますように。そしてそれを通して輝き、喜びに満ちた人生を歩んでいける特権に預かっていることを感謝致します。神の栄光が崇められますように。

編集室 便り

主の復活をお祝い申し上げます。

「わたしは、よみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は、死んでも生きるのです。」とイエス様は言われました。信じる私たちはその約束により、既に天命の書に名前が記されています。何という主の恵みでしょう。この世を去るまでは、神様からいただいた体と心を健康に正しく管理して、いつでも主に用いただけるように準備したいと思います。喜びにつけ悲しみにつけ、私たちの心を主の愛で満たし、慰めと平安を与えて下さる主に感謝します。

美しい季節になりました。よみがえられた主より、豊かな祝福と力をいただき、この素晴らしい季節が希望に満ちた日々でありますようにお祈り致します。